



Role of neurochemical navigation with 5-aminolevulinic acid during intraoperative MRI-guided resection of intracranial malignant gliomas

著者名	山田 忍
発行年	2015-03-20
URL	http://hdl.handle.net/10470/31109

doi: 10.1016/j.clineuro.2015.01.005

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 603 号	氏 名	山 田 忍
審 査 委 員 会	主 査 教 授	村 垣 善 浩	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>Role of neurochemical navigation with 5-aminolevulinic acid during intraoperative MRI-guided resection of intracranial malignant gliomas Clinical Neurology and Neurosurgery 2015;130: 134-139 (Published Online: January 08,2015)</p> <p>【目的】悪性神経膠腫の手術時の正確な腫瘍部位の同定を行うため、術中 MRI を用いたガイドシステム (iMRI ガイド) と腫瘍に選択的集積する特性のある 5-ALA (5-Aminolevulinic acid) ナビゲーションを併用し、その役割を検討した。</p> <p>【対象及び方法】悪性神経膠腫患者 99 例に、術前に 5-ALA 20 mg/kg を経口投与し励起波長光源により赤色蛍光を認識し、組織毎の病理組織診断と 5-ALA 蛍光度を比較検討した。</p> <p>【結果】腫瘍中央部位では、5-ALA 蛍光組織で全ての組織標本で腫瘍細胞が認められた。腫瘍周辺部位では、強蛍光 89%、弱蛍光 81%、蛍光なし 29%で腫瘍細胞が認められた。陽性適中率は、腫瘍中央部位 100%で腫瘍周辺部位 86%であった。</p> <p>【考察】腫瘍摘出術時では、腫瘍周辺部位は腫瘍の進展範囲の判断が困難である。5-ALA 蛍光組織の陽性適中率は信頼度の高い結果であり、5-ALA ナビゲーションの併用は有用であることが示唆された。</p> <p>【結論】5-ALA ナビゲーションは、悪性神経膠腫の iMRI ガイドでの腫瘍摘出術の補助として有用である。</p>			